

令和7年度第2回企画展

内閣文庫140周年記念

世界へのまなざし —江戸時代の海外知識—



令和7年 **10月11日土 ~ 12月7日日**

※11月16日(日)・23日(日・祝)・24日(月・休)は休館

協力:千代田区観光協会

入場無料・予約不要

会場:国立公文書館東京本館 1階展示ホール
開催時間:午前9時15分~午後5時

<https://www.archives.go.jp/>

Facebook X(Twitter) YouTube Instagram



記録を守る、未来に活かす。



独立行政法人
国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園 3-2
TEL : 03-3214-0621

令和7年度第2回企画展

内閣文庫140周年記念

世界へのまなざし —江戸時代の海外知識—

江戸幕府は海外との窓口を長崎・^{つしま}対馬・^{さつまいも}薩摩・松前の4か所に限り、国際関係を統制していました。8代將軍徳川吉宗は輸入書籍の制限を緩和し、以後様々な海外知識が国内へ流入しました。海を渡ってきた新しい知識は、どのように江戸時代の人々に受け入れられたのでしょうか。本展では、内閣文庫の資料から18世紀を中心に日本に來航した外国使節や輸入書籍、江戸時代を代表する文化人たちの海外研究に関する著作をご紹介します。



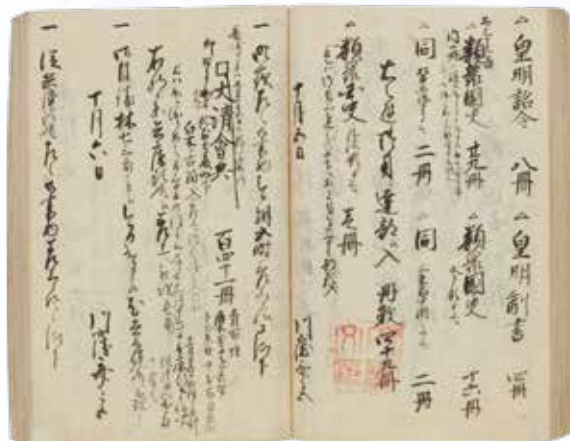
自筆本!

せいよう き ぶん
西洋紀聞

『西洋紀聞』は、^{あら い はくせき}新井白石(1657-1725)が、密入国したイタリア人宣教師のシドッチから得た知識をもとに著述した書で、当時としては高い世界地理知識を有します。キリスト教に関する記事を含むために新井家に秘匿されてきましたが、寛政5年(1793)、幕府の命令により献上されました。展示資料は、紅葉山文庫旧蔵書で、新井白石の自筆本です。

重要文化財!

ごしょ もつ かた に つ き
御書物方日記



『御書物方日記』は、將軍の図書館・アーカイブズである紅葉山文庫を管理する書物奉行の約150年間にわたる業務記録です。記述の内容は、蔵書の管理・出納、目録類の編纂など多岐にわたります。展示資料は、「江戸幕府書物方関係資料」として平成30年(2018)に国の重要文化財に指定されました。

重要文化財!

ほく い ぶんかい よ わ
北夷分界余話



※資料保存のため、会期中、展示替えを行います。

『北夷分界余話』は、^{ま みやりんどう}間宮林蔵(1775-1844)のカラフト調査に基づく口述を編集・筆録したカラフトの地誌・民俗誌です。彩色図96図を用いてカラフトアイヌの生活が忠実に描かれています。展示資料は、紅葉山文庫旧蔵書で、「間宮林蔵北蝦夷等見分関係記録」として平成3年(1991)に国の重要文化財に指定されました。

■ 原本特別展示

新橋横浜間鉄道之図(10月4日~10月17日)
大日本帝国憲法(11月22日~12月7日)
常設展示室で展示します。

▶ 予告 令和7年度第3回企画展「馬とまつりごと」(仮)

令和8年1月17日(土)~2月21日(土)(※1月26日(月)は休館)



独立行政法人
国立公文書館
NATIONAL ARCHIVES OF JAPAN

〒102-0091 東京都千代田区北の丸公園3-2
TEL: 03-3214-0621
アクセス▶東京メトロ東西線竹橋駅下車[1b出口] 徒歩5分

■ 展示解説会

日時: 10/17(金)、10/30(木)、11/17(月) (いずれも午後2時~)
事前申込制(定員40名)、詳細は国立公文書館HPをご覧ください。

